

# Peace Quest 2005 aw 記録写真



クエストホール入口



受付風景



SIJブース(ぞうさんペーパー、紅茶、レシピの販売)



IDALA販売ブース



スリランカの写真展示 (撮影：青木信之)



スタディーツアー



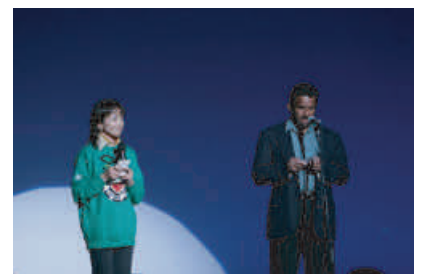
紅茶



司会：小谷和彦・後藤美奈子



内海理事長挨拶



スリランカ大使挨拶



dropsコンサート



dropsコンサート



dropsコンサート



オークション風景



オークション風景



オークション風景



オークション風景



オークション風景



沢田知可子コンサート



沢田知可子コンサート



沢田知可子コンサート



沢田知可子コンサート



沢田知可子コンサート



沢田知可子コンサート



沢田知可子コンサート



沢田知可子コンサート

Peace Quest 2005 autumn-winter  
実施報告書

1/Jan. 2005

[www.sputnik-international.jp](http://www.sputnik-international.jp)

SPUTNIK INTERNATIONAL JAPAN

## ご挨拶

この度は、皆様のご協力のおかげで、「PEACE QUEST 2005 Autumn-Winter」を大成功させることができました。概要を下記に記し、報告とさせていただきます。

まだまだ至らない点多々ございますが、今後ともご指導、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

SPUTNIK International JAPAN 一同

## 目的

2004年12月26日、クリスマスにツリーの下に置かれたプレゼントを正式にオープンするボクシングデー (Boxing Day) にスマトラ沖で大地震が発生しました。その数時間後、巨大な津波が周辺のアジア諸国を襲いました。スリランカもその被災地の1つです。2005年6月27日現在で死者38,800人、行方不明者5,563人。この津波で怪我をした人15,196人、そして家をなくした人403,245人。

津波からちょうど1年となる12月26日に原宿クエストホールで「Peace Quest 2005 Autumn-Winter」チャリティーコンサートが開催されます。今回は、去年、日本大使館主催の日本文化アワードのプレゼンターとして訪スリ後、大のスリランカ Lover となった歌手、沢田知可子さんをむかえ、この1年間、私達は何ができたのか、これから何が必要なのかを、国境の存在しない「音楽」を通じ共有したいと考えました。

SPUTNIK は5年間にわたり、スリランカと深く関わってきました。今後も、様々なプロジェクト (奨学金プロジェクト、語学教育プロジェクト、スリランカ高校生日本留学招聘支援プロジェクト、環境プロジェクト、井戸建設プロジェクト、学生スタディーツアープロジェクト他) を推進しつつ、新たに2006年度には、津波被災孤児もふくむ孤児たちのための孤児院建設に取り組みます。

今回のコンサートの収益金は全てがこれらの活動のために寄付されます。今後とも、目に見える支援をモットーに、私達にできることを無理せず、笑顔で、前向きに進めていきたいと考えています。

## 資金用途

奨学金 5,000円×20名=10万円

国際教育文化交流センター維持運営補助費 1年分=12万円

シニアセンター 運営維持補助費 1年分=12万円

日本語教師その他教育サポート補助費 1年分=12万円

移動図書館 運営維持補助費 1年分=12万円

平成18年度奨学生渡航費 補助費 1名分=25万円

孤児院運営維持補助費 1年分=24万円

**合計 107万円を目標としています。**

## 実施概要

**主催：**SPUTNIK INTERNATIONAL JAPAN

**特別協力：**原宿クエストホール

**後援：**スリランカ大使館/スリランカ政府観光局/日本スリランカ協会/日本青年会議所/  
green bird 他 [順不同]

**協賛：**生活の木/BEAMS/ジントック/英治出版/ドクターシーラボ/Koo&Co./MEG/  
ゲットウェイ/TM コミュニケーションサービス 他 [順不同]

**日時：**2005年12月26日(月) 19:00～

**会場：**原宿クエストホール[東京都渋谷区神宮前1-13-14]

**会費：**一般4,500(前売4,000)円、在日スリランカ人及び学生1,500(前売1,000)円

**入場者数：**約280名

### 内容：

- ・コンサート：スリランカ伝統音楽他
- ・オークション：
- ・コンサート：沢田知可子
- ・同時開催(ホワイエ)：物販(スリランカの物産、紅茶、写真集、レシピエイドなど)  
他

### プログラム：

- 19:00～19:10 開会挨拶
- 19:10～19:40 コンサート(drops)
- 19:40～20:10 オークション
- 20:10～20:20 休憩
- 20:20～21:30 コンサート(沢田知可子)

## 出演者プロフィール

### ミュージシャン

#### 沢田知可子

「天職に転職しよう」とOL時代の3年間、警察署内交通安全協会で9 to 5の社会修行、after 5で夢を探しながらもバンド活動を始め「声を資本金に人生を賭けてみよう」と本格的にプロデビューを目指す。1年というタイムリミットを自ら課し、曲作り、ライブ、売り込み活動開始。1987年10月5日「恋人と呼ばせて」で念願のプロデビューを果たす。1990年4枚目のアルバム「I miss you」からシングルカットした「会いたい」が全国有線放送所から自然発生的にブレイクし、発売以来1年以上をかけて130万枚の売り上げを達成。翌年1991年には、日本大阪有線放送大賞受賞、CANシステム特別賞受賞、NHK紅白歌合戦初出場を果たした。オリコン100位圏内に87週（歴代3位）もの間チャートに入っていた。2001年に年始めには「21世紀に残したい泣ける名曲」として第1位に輝く。そして21世紀の幕開けとしては、この「会いたい」から生まれた10のLove Storyを込めたアルバム「Rhapsody」の中で、千住明氏によって「会いたい」がストリングスバージョンで蘇った。2002年にはプレステーションゲームソフト「ぼくのなつやすみ2」で井上陽水の「少年時代」が挿入歌となり、「永遠の少年たちに捧ぐララバイ」というコンセプトで「Boys be・・・」というカヴァーを中心としたアルバムを発売。LIVEがメインディッシュという想いで全国アコースティックライブを中心に活動を展開し、「大人のための音楽」を発信できる存在として認知されている。

「幸せになろう」「Day by day」などソングライターとしての力も発揮されながら、2003年7月には自殺をテーマとして書かれた「gift」という楽曲が生きる力を与えるメッセージソングとして社会に貢献していると評価を受けて、2003年度（社）日本青年会議所主催の人間力大賞厚生労働大臣奨励賞を受賞した。また趣味が高じて「名誉利々酒師」でもあり、友人でもあるワインシニアソムリエの辻井繁代女史が提案する心と体に美しいオーガニックワインとのコラボレーションとして、楽曲を提供したアルバム「Love is・・・」が2003年10月22日に発売した。また、2005年8月24日にベストアルバム「永遠の詩 one by one」を発売。詩うことは永遠のテーマ・・・沢田知可子 Ballad Best Please!

## ミュージシャン

### drops 乾いた心にやさしく潤う音楽を

2人のオリジナル曲を中心に、都内でライブ活動をしている。

疲れた心、乾いた心が潤い、ポジティブで優しい気持ちになれるような音楽を目指し、drops（しずく）という名前をつけた。2004年スリランカフェスティバルテーマソング作詞・作曲・演奏をきっかけに、スリランカの音楽も積極的に演奏し、チャリティー活動を行っている。2005年1月、J-WAVE Music Hyper Market のランキングで drops が2位に。また、インターネットラジオ J9 でレギュラーのパーソナリティーを担当している。

drops website <http://drops-music.hp.infoseek.co.jp/>

武内 洋子 (Vo) Hiroko Takeuchi

1975年3月 埼玉生まれ。

20歳 OL のとき、ジャケ買いしたサラボーンに触発され、ボーカリストを目指す。

Pops・Soul・R&B など、ジャンルにとらわれないライブ活動を続ける一方、オリジナル曲にも定評がある。

師 湯浅美恵子とのボーカルDUO"B"や、メンバー全員が作詞作曲を行う異色の女性3声ユニット"liquid fitzgerald"にて精力的にライブ活動を行い、コーラスアレンジも手がけた。

「聴く人の心と体に響く歌」を目指す。

ボクトツとを感じるものが大好き。

MIKA (Pf)

5歳でピアノ、即興をはじめ。2002年、ファースト・ソロ・アルバム「Lake Erie」をニューヨークからリリース。J-WAVE「MUSIC HYPER MARKET」で「Lake Erie」がオンエアされる。2003年、はしのえみ作：絵本 CD「ハートのおくりもの」を音楽プロデュース、作・編曲を手がける。

「2003年 さっぽろホワイトイルミネーション」にイメージ曲を提供。

2003年11月 スリランカ・コロンボ市にて、スリランカの人気バンド「シーハシャクティー」と共演。その他、ミュージカル、歌手への楽曲提供など、ジャンルを越え幅広いフィールドで活動中。

MIKA website <http://www.mika-m.net/>

## 収支報告

### ●収入の部

協賛金		¥520,000
協賛金	物販の一部	¥12,000
チケット		¥691,000
オークション売上		¥91,000
売上	ぞうさんペーパー、紅茶など	¥95,000
寄付金		¥20,000
合計		¥1,429,000

### ●支出の部

音響・照明・会場	内会場代 73,500 円	¥300,000
仕入れ	物販	¥50,000
デザイン	チラシ・パンフレット他	¥30,000
飲食費		¥53,000
雑費		¥10,000
		¥443,000
合計		

### 総合計

収入 1,429,000 - 支出 443,000 = ¥986,000

※上記は概算です。

今回のコンサートの収益金(¥986,000) は全てが以下の活動のために寄付されます。

奨学金 5,000 円×20 名=10 万円

国際教育文化交流センター維持運営補助費 1 年分=12 万円

シニアセンター 運営維持補助費 1 年分=12 万円

日本語教師その他教育サポート補助費 1 年分=12 万円

移動図書館 運営維持補助費 1 年分=12 万円

平成 18 年度奨学生渡航費 補助費 1 名分=25 万円

孤児院運営維持補助費 1 年分=24 万円

合計 107 万円 (▼8 万 4 千円・・不足分は別途、寄付金や他のイベントでの収益でまかないます)

今後とも、目に見える支援をモットーに、私達にできることを無理せず、笑顔で、前向きに進めていきたいと考えています。今後とも、SPUTNIK International Japan への応援、宜しく願いいたします。

また、進捗などにつきましてはホームページに随時あげてまいりますので、時々ご覧いただければ幸いです。

今後とも宜しくお願い致します。

SPUTNIK International Japan 一同